● 読書感想文コンクール 小学校 1･2･3 学年 の部●

優秀賞

今泉　茜俐（いまいずみ　あかり） 大和田小 ３年生

作品名：どカする心
図　書：れっつ！スイミング

この本は、スイミングの大会でよいせいせきを目指して練習しているのに思うようにタイムが上がらず、練習に行きたくなくなっていた時に、本屋さんで表紙の絵がかわいくて、内ようが気になったので読みました。

運動神けいばつぐんだけど全く泳げない主人公ルカが、二か月後のクラス対こう水泳大会でゆうしょうするとせん言してしまったのです。わたしもスイミングを習い始めた時は、水に顔をつけられませんでしたが、コーチたちと一しょにちょっとずつ顔つけをし、だんだん出来るようになり、三年かかってやっと二十五メートル泳げるようになったので、どうなってしまうのだろうと、すごく気になりました。

クラス対こう水泳大会の日。スイミングスクールに通ったり、おふろで練習などしてど力したけっか、初めて二十五メートル泳ぐことができたルカが、けがをした友だちのかわりにリレーに出ることになってしまいました。わたしはリレーを何回か泳いだことがあります。し合前にはみんなで一位を目指してがんばろうと気合を入れたりします。リレーは、みんなで力を合わせるきょうぎだと私は思います。リレーは、さをつけられてしまったりぬかされてしまっても、一人一人ががんばってだんだんさをちぢめていけばそのうちぬきかえすことが出来たりするからです。

リレーでは、みんなできょう力し合っていけるとさらにタイムが速くなると思います。わたしは、リレーで自己ベストタイムが出た時にはこ人で出た時より何倍もうれしく感じます。それは、みんなの力を合わせることによってがんばれたからだと思います。わたしは、リレーが好きです。そのため、大会でリレーに出る時はとてもうれしいですが、出れない時はくやしいです。

また、けがをしたクラスメイトとのやくそくを守ろうというルカの強い気持ちにも私はあこがれました。なぜなら、わたしはそこまできちんと「守る」という強いいしをもてる自信がないからです。ルカが二十五メートル泳げたのは、泳いでいる時に、コーチに教えてもらったことをきちんと守ったからですが、わたしはあせっ

てしまって日ごろコーチに教えてもらっていることが出来ないこともあるので、ルカのように教えてもらっていることを練習で出来るようにしたいです。そうすることによって、今より速く泳げるようになると思います。

　この本を読み人のために行動したり、たすけたり、人よりど力すれば出来るということを学びました。わたしもがんばってやればけっかにつながるとわかりました。これからは、スイミングや学校でも苦手なことにもちょうせんし、上手になるようにど力したいです。